

区 分	演習科目	担当教員	池本良教・古関善之・崔博憲 竹元雅彦・山本昌弘			
授業科目	社会学基礎ゼミナール					授業形態
英 訳	Sociology : Basic Seminar					複数
配当年次	2年次	通年	必選別	必修	単位数	4単位
<b>【授業の目的】</b> 専門教育課程の学習に先だって、受講生が社会学の学習方法を学ぶことを目的とする。						
<b>【授業の到達目標】</b> 文献の収集能力の向上、社会学の基礎概念の修得、プレゼン能力の向上、思索する力の向上。						
<b>【授業の概要】</b> ゼミナール形式により各自が卒業論文に取り組むための研究を深め、その成果を各自が発表する。						
<b>【準備学習(予習・復習)】</b> 各担当教員から具体的な指示があるので、それに従うこと。						
<b>【授業計画】</b> 第 1回 各ゼミの紹介と受講生の各ゼミへのふりわけ 第 2回 以降は各担当教員に委ねられる						
<b>【テキスト】</b> 各教員に委ねられる。						
<b>【参考書・参考資料等】</b> 各教員に委ねられる。						
<b>【成績評価の方法等】</b> 各教員に委ねられる。						
<b>【履修要件等】</b>						

区分	演習科目	担当教員	池本良教・伊藤泰郎・古関善之・崔博憲 竹元雅彦・山田陽子・山本昌弘			
授業科目	社会学演習 I					授業形態
英 訳	Seminar of Sociology I					複数
配当年次	3年次	通年	必選別	必修	単位数	4単位
<b>【授業の目的】</b> ・論文やレポート作成に必要な能力を養う。 ・ゼミでの報告や議論などを通じて、自分自身の研究テーマを深める。						
<b>【授業の到達目標】</b> ・論文やレポート作成に必要な能力を習得する。 ・卒業論文の執筆に向けて、自分の研究テーマを明確化する。						
<b>【授業の概要】</b> ゼミ形式による授業を行う。授業の進め方や内容は各担当教員による。						
<b>【準備学習(予習・復習)】</b> 各担当教員から具体的な指示があるので、それに従うこと。						
<b>【授業計画】</b> 第 1回 各ゼミの紹介と受講生の各ゼミへのふりわけ 第 2回 以降は各担当教員に委ねられる						
<b>【テキスト】</b> 各教員に委ねられる。						
<b>【参考書・参考資料等】</b> 各教員に委ねられる。						
<b>【成績評価の方法等】</b> 各教員に委ねられる。						
<b>【履修要件等】</b>						

区 分	演習科目	担当教員	池本良教・伊藤泰郎・古関善之・崔博憲 竹元雅彦・山田陽子・山本昌弘			
授業科目	社会学演習Ⅱ					授業形態
英 訳	Seminar of Sociology Ⅱ					複数
配当年次	4年次	通年	必選別	必修	単位数	4単位
<b>【授業の目的】</b> 社会学演習Ⅰにおいて学習した成果に基づいて、学生各自が卒業論文テーマとして選択した問題を、学生各自の意図と責任において展開する。						
<b>【授業の到達目標】</b> 現代社会における事象や社会問題などについて考察し、学術的な議論に耐えうる論文を作成する力を身につける。						
<b>【授業の概要】</b> ゼミナール形式により各自が卒業論文に取り組むための研究を深め、その成果を各自が発表する。						
<b>【準備学習(予習・復習)】</b> 各担当教員から具体的な指示があるので、それに従うこと。						
<b>【授業計画】</b> 各担当教員に委ねられる						
<b>【テキスト】</b> 各教員に委ねられる。						
<b>【参考書・参考資料等】</b> 各教員に委ねられる。						
<b>【成績評価の方法等】</b> 各教員に委ねられる。						
<b>【履修要件等】</b> 前期および後期のはじめに、社会学演習Ⅱにかんする詳しいガイダンスを実施する。受講生は必ず出席すること。						

区 分	演習科目	担当教員	池本良教・伊藤泰郎・古関善之・崔博憲 竹元雅彦・山田陽子・山本昌弘			
授業科目	卒業論文				授業形態	
英 訳	Graduation Thesis				複数	
配当年次	4年次 通年	必選別	必修	単位数	4単位	
<b>【授業の目的】</b> 現代社会学科で学んだ様々な知識を基礎としつつ、自己の関心に沿って選定したテーマについての研究を行い、その成果を論文として表現する。						
<b>【授業の到達目標】</b> 論文完成までの過程を通じて、観察力、分析力、読解力、表現力などを高め、卒業論文を完成させる。						
<b>【授業の概要】</b> 担当教員の指導のもと、テーマの設定、先行研究・関連資料・統計データ等の資料収集、必要に応じて量的・質的調査の実施、収集した資料や調査データの分析や考察、それらを踏まえた論文の執筆を行う。						
<b>【準備学習(予習・復習)】</b> 各指導教員による。						
<b>【授業計画】</b> 論文指導については各指導教員による。 なお、提出および審査のスケジュールは以下の通りである（日程に若干の変更はあり得るが、その場合には履修年度の早い段階で通知を行う）。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 題目の提出（10月末）</li> <li>・ 卒業論文の提出（1月15日）</li> <li>・ 口頭試問（1月下旬～2月初め）：主査と副査の2名で実施する</li> </ul>						
<b>【テキスト】</b> 各指導教員による。						
<b>【参考書・参考資料等】</b> 各指導教員による。						
<b>【成績評価の方法等】</b> 卒業論文の内容と口頭試問の結果を踏まえ、主査と副査の2名により審査を行う（100%）						
<b>【履修要件等】</b> 履修の前年度までに90単位を修得していること。						